

基本目標2

地域を支える人づくり

基本施策1

当事者としての福祉意識の向上

主な取組・事業(1)	福祉に関する啓発	計画書	P52	～	P52
------------	----------	-----	-----	---	-----

評価①

市	事業・取組	民児協全体研修会等の開催	多様複雑化する福祉ニーズに対応するため、地域福祉の理解と認識を深め、専門的知識と技術による活動実践が図られるように、研修会等を開催し、担い手を育成します。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる 栃木県主催で実施した県南ブロック地区別研修会に276名、市民児協連合会が主催で実施した全体研修会に289名が出席した。 また、一斉改選の年度に開催している市主催の新任民生委員・児童委員研修会に145名の委員が参加した。	
	課題及び今後の取組方針	専門部の活動につながるテーマの設定や、事業計画の重点目標に則したテーマの設定が今後の課題であり、社会情勢に応じた研修会を企画・実施していくとともに、担い手不足の解消のため、社会福祉協議会とも連携しながら研修等を企画・実施する。	

市	事業・取組	市民特別講座の実施	現在の講座を見直ししながら、現状の福祉課題を精査し、市民に対して各テーマに沿った内容に精通した講座を行い、参加者の意識向上や福祉に関する啓発活動を実施します。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる 市民の認知症への理解を促進し、地域で見守り支え合う体制づくりの基礎とするため、公開講座を企画・実施した。	
	課題及び今後の取組方針	現在の参加者は高齢者の割合が高いが、本来の目的としては、市民に広く、特に若い世代や子供にも広げたい。 そのため、今後の講座内容は、幅広い世代の方が受けやすいように、分かりやすい題目や、一体型となって参加できる形式で行いたい。	

社協	事業・取組	市民特別講座の実施	現在の講座を見直ししながら、現状の福祉課題を精査し、市民に対して各テーマに沿った内容に精通した講座を行い、参加者の意識向上や福祉に関する啓発活動を実施します。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる 高齢化とともに、認知症高齢者が増加するなか、認知症高齢者を支える取り組みの事例や、認知症に関する啓発を目的に、栃木市、栃木市特別養護老人ホーム・養護老人ホーム連絡協議会との共催で、栃木市民特別講座「まちぐるみで認知症高齢者を支える」を開催し380人の参加があった。	
	課題及び今後の取組方針	継続的に啓発機会を提供し、地域における高齢者・認知症高齢者を地域全体で支える体制を構築するため、関係者との協働強化を図る。	

社協	事業・取組	福祉まつり等における啓発活動の実施	福祉まつり等で事業の各種体験や展示、当事者との交流を通じて、様々な「気づき」や「つながり」における啓発を図ります。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる 福祉やボランティア活動に関する啓発及び当事者との交流を目的として、福祉まつり等の開催支援を行った。 ※ふれあい館作品展示交流会(大平)・藤岡ふくしまつり(藤岡)・岩舟「我が事・丸ごと」ふくしまつり(岩舟)	
	課題及び今後の取組方針	より多くの住民に参加いただくため、気軽に立ち寄れる企画ブース等を設置し、これまで福祉やボランティアに関わりの少なかった住民へ向けた普及啓発を図る。	

評価②

数値目標			R06	R07	R08	R09	R10	R11	自己評価
社協	学校・地域等への出前講座の実施回数	目標値		55	56	56	57	57	4
		実績値	49	61					
	地域福祉サポーター養成研修受講者数(隔年開催)	目標値		(85)	100	(100)	120	(120)	2
		実績値	59	59					

点数	評価基準
4	順調に進んでいる
3	概ね順調だが不十分な点が少しある
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い
1	実施方法も含め改善が必要である

評価③

【取組における成果】【施策の方向性の実現に向けた課題・方針】

【取組における成果】

●市民の認知症への理解を促進し、地域で見守り支え合う体制づくりの基礎とするため、公開講座を企画・実施した。

【施策の方向性の実現に向けた課題・方針】

●現在の参加者は高齢者の割合が高いが、本来の目的としては、市民に広く、特に若い世代や子供にも広げたい。そのため、今後の講座内容は、幅広い世代の方が受けやすいように、分かりやすい題目や、一体型となって参加できる形式で行いたい。

評価④

推進懇談会評価

・地域福祉サポーター養成講座は隔年開催であるため、数値目標値において開催しない年度については括弧書きで表記していただきたい。
 ・高齢者の就労拡大や中高生の協力機会の減少等により担い手確保が難しいが、近所付き合いなど身近な支え合いから広げられるよう努めていただきたい。

基本目標の実現に向けた現状の評価

4 ・ 3 ・ ② ・ 1

基本目標2

地域を支える人づくり

基本施策1

当事者としての福祉意識の向上

主な取組・事業(2)	福祉教育の推進	計画書	P53	～	P53
------------	---------	-----	-----	---	-----

評価①

社協	事業・取組	学校・地域等への出前講座の実施	市内の学校や地域、企業等に向けた出前講座を実施し、未来を担う子どもや地域を担う人などに「支え合い」や「つながり」の大切さを伝えます。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる	
	課題及び今後の取組方針	市内小・中学校等からの福祉やボランティア活動に関する授業実施の相談や地域からの福祉講座実施の相談に応じ、職員やボランティアグループ・当事者等の講師派遣、体験活動を61回実施した。	
社協	事業・取組	福祉体験用具貸出事業	車いすや高齢者疑似体験セット等の体験用具の貸出を行い、学校等で行われる福祉教育の推進を図ります。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる	
	課題及び今後の取組方針	福祉教育を推進するため、学校や施設に対し、福祉機器及び、障がい者スポーツ機器等の貸出を18件行った。	
社協	事業・取組	サマーボランティアスクールの実施	市内小学生(4年生以上)を対象に、テーマ別(高齢者・障がい者・防災)の様々な体験を通じて、自助や互助やボランティアへの理解と関心を深めていきます。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる	
	課題及び今後の取組方針	夏休み期間を利用して、児童の福祉やボランティア活動への理解と関心を高めることを目的に、高齢者をテーマにしボランティアスクールを3か所で開催した。地域高齢者との交流会や福祉機器体験を行った。	
社協	事業・取組	サマーボランティアスクールの実施	市内小学生(4年生以上)を対象に、テーマ別(高齢者・障がい者・防災)の様々な体験を通じて、自助や互助やボランティアへの理解と関心を深めていきます。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる	
	課題及び今後の取組方針	参加者の拡大に向け、開催会場の配置や日程設定(時期・時間帯)を精査・検討し、より多くの児童が参加しやすい事業の企画・運営を実施する。	

評価②

数値目標			R06	R07	R08	R09	R10	R11	自己評価
社協	学校・地域等への出前講座の実施回数	目標値	55	56	56	57	57		4
		実績値	49	61					
	地域福祉サポーター養成研修受講者数(隔年開催)	目標値	(85)	100	(100)	120	(120)		2
		実績値	59	59					

点数	評価基準
4	順調に進んでいる
3	概ね順調だが不十分な点が少しある
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い
1	実施方法も含め改善が必要である

評価③

【取組における成果】【施策の方向性の実現に向けた課題・方針】

【取組における成果】

●市内の小・中学校等からの福祉やボランティア活動に関する授業実施の相談や地域からの福祉に関する講座実施の相談に応じ、職員やボランティアグループ・当事者等の講師派遣、体験活動を61回実施した。

【施策の方向性の実現に向けた課題・方針】

- ボランティア団体構成員の高齢化等に伴い、調整等が困難になりつつある。
- 限られた資源で効率的な事業運営を行うため、ボランティア団体や当事者、学校との緊密な連携・事前調整を図っていく。

評価④

推進懇談会評価

- ・地域福祉サポーター養成講座は隔年開催であるため、数値目標値において開催しない年度については括弧書きで表記していただきたい。
- ・高齢者の就労拡大や中高生の協力機会の減少等により担い手確保が難しいが、近所付き合いなど身近な支え合いから広げられるよう努めていただきたい。

基本目標の実現に向けた現状の評価

4

・

3

・

②

・

1

基本目標2

地域を支える人づくり

基本施策1

当事者としての福祉意識の向上

主な取組・事業(3)	交流による理解促進	計画書	P53	～	P53
------------	-----------	-----	-----	---	-----

評価①

社協	事業・取組	各種交流事業への支援	世代間交流事業等の事業費に対して支援を行い、団体の活性化に寄与します。
	事業概要	「誰(何)を」「どうの方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる	
	課題及び今後の取組方針	児童と高齢者の世代間交流を推進するため、世代間交流事業を実施するシニアクラブを募り、事業実施の補助18団体へ行った。	

社協	事業・取組	多世代交流イベント事業の開催	福祉まつりや世代間交流事業等の交流イベントを開催し、高齢者や障がいのある人等の当事者と参加者の交流を促し、つながりを生むことや相互の支え合い活動等や共生社会の推進を図ります。
	事業概要	「誰(何)を」「どうの方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる	
	課題及び今後の取組方針	福祉やボランティア活動に関する啓発及び市民相互の交流を目的として、福祉まつり等の開催支援を行なった。また、障がいのある方もない方も一緒に交流できる機会を設けることで、地域住民が互いへの理解を深め、助け合いとつながりを育む意識の醸成を図ることを目的に、ふれあい交流会(車いすバスケット)を実施し25人の参加があった。	

評価②

数値目標		R06	R07	R08	R09	R10	R11	自己評価	点数	評価基準
社協	学校・地域等への出前講座の実施回数	目標値	55	56	56	57	57	4	4	順調に進んでいる
		実績値	49	61					3	概ね順調だが不十分な点が少しある
	地域福祉サポーター養成研修受講者数(隔年開催)	目標値	(85)	100	(100)	120	(120)	2	2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い
		実績値	59	59					1	実施方法も含め改善が必要である

評価③

【取組における成果】【施策の方向性の実現に向けた課題・方針】	
【取組における成果】 ●児童と高齢者の世代間交流を推進するため、世代間交流事業を実施するシニアクラブを募り、事業実施の補助を18団体へ行った。 【施策の方向性の実現に向けた課題・方針】 ●シニアクラブの高齢化、児童数の減少、こども会育成会等の解散など、社会情勢の変化に対応する必要がある。	

評価④

推進懇談会評価

・地域福祉サポーター養成講座は隔年開催であるため、数値目標値において開催しない年度については括弧書きで表記していただきたい。
 ・高齢者の就労拡大や中高生の協力機会の減少等により担い手確保が難しいが、近所付き合いなど身近な支え合いから広げられるよう努めていただきたい。

基本目標の実現に向けた現状の評価

4

・

3

・

②

・

1

基本目標2

地域を支える人づくり

基本施策2

地域福祉活動への多様な担い手づくり

主な取組・事業(1)	地域福祉活動の担い手づくり	計画書	P54	～	P54
------------	---------------	-----	-----	---	-----

評価①

市	事業・取組	各種サポーター養成事業	生活サポーター(あったかいご員)・ますます元気サポーター・認知症サポーターを養成するため、講座の開催や講師の派遣をします。
	事業概要	「誰(何)を」「どうの方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる	
	課題及び今後の取組方針	あったかいご員やますます元気サポーターなど、地域において活動するボランティアを養成するための各種講座の開催や講師の派遣、ボランティアの交流会等を行った。 また、認知症サポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトに対して勉強会を開催した。	

社協	事業・取組	地域福祉サポーター養成研修	地域の支え合い活動等に必要な知識・視点等に気づき、地域資源の発見・発掘を通じて普段のつながりや支え合いを推進するサポーターを養成します。また、研修体系として、導入(スタートアップ)、本講座(養成)、スキルアップを隔年で行います。
	事業概要	「誰(何)を」「どうの方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる	
	課題及び今後の取組方針	年齢や障がいの有無に関わらず、すべての住民が自分らしく役割を持ちながら社会参加できる地域共生社会の実現を目指し、地域福祉の担い手育成を目的とした「地域福祉サポーター養成講座」を実施している。 令和8年度の本格実施に向けて、地域福祉サポータースタートアップ研修会を開催するとともに、既存サポーターを対象としたスキルアップ研修会も実施し、サポーターの知識・技術の向上を図った。	

社協	事業・取組	中・高校生へのボランティア活動支援	中学生及び高校生に対し、ボランティア活動の普及啓発を行い、地域づくりやボランティア体験を通じて多様な人たちと触れ合う活動の場を提供します。
	事業概要	「誰(何)を」「どうの方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる	
	課題及び今後の取組方針	中・高校生たちが、ボランティア活動や、地域づくり活動を体験することを通して、身の回りの多様な人たちと触れあい、地域の魅力や課題への理解を深めるとともに、自分の興味関心を広げられる機会を提供した。	

社協	事業・取組	ふれあい在宅福祉サービス協力会員研修会の実施	在宅福祉の充実を図るために実施している「ふれあい在宅福祉サービス」の協力会員を対象とし、事業の理解を深めるとともに活動への積極的な参加を推進します。
	事業概要	「誰(何)を」「どういう方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる ふれあい在宅福祉サービスにおける協力会員活動の向上と、住民参加型在宅福祉サービスについての理解や関心を高め、協力会員の増加につなげることを目的に、協力会員と市民24名を対象とした研修会を開催した。	
	課題及び今後の取組方針	派遣要請は増加傾向にある一方で、協力会員(ボランティア)の確保が難しく、支援体制の維持が課題となっている。 このため、支援内容を精査し、支援が特に必要な利用者への対応を優先的に実施する体制を整えていく。	

評価②

数値目標			R06	R07	R08	R09	R10	R11	自己評価
社協	学校・地域等への出前講座の実施回数	目標値		55	56	56	57	57	4
		実績値	49	61					
	地域福祉サポーター養成研修受講者数(隔年開催)	目標値		(85)	100	(100)	120	(120)	2
		実績値	59	59					

点数	評価基準
4	順調に進んでいる
3	概ね順調だが不十分な点が少しある
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い
1	実施方法も含め改善が必要である

評価③

【取組における成果】【施策の方向性の実現に向けた課題・方針】	
【取組における成果】 ●あったかいご員やますます元気サポーター、地域福祉サポーターなど、地域において活動するボランティアを養成するための各種講座の開催や講師の派遣、ボランティアの交流会等を行った。また、認知症サポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトに対して勉強会を開催した。 【施策の方向性の実現に向けた課題・方針】 ●地域課題の複雑化に伴い、より複雑な課題が生じる場合があるため、スキルアップ講座等を案内することにより、サポーターの知識向上を図っていく。	

評価④

推進懇談会評価	
・地域福祉サポーター養成講座は隔年開催であるため、数値目標値において開催しない年度については括弧書きで表記していたきたい。 ・高齢者の就労拡大や中高生の協力機会の減少等により担い手確保が難しいが、近所付き合いなど身近な支え合いから広げられるよう努めていただきたい。	
基本目標の実現に向けた現状の評価	4 ・ 3 ・ ② ・ 1

基本目標2

地域を支える人づくり

基本施策2

地域福祉活動への多様な担い手づくり

主な取組・事業(2)	地域、団体等の活動支援	計画書	P55	～	P55
------------	-------------	-----	-----	---	-----

評価①

市	事業・取組	地域介護予防活動 支援事業	地域において高齢者自ら活動に参加し、介護予防に向けた取り組みが主体的に行われるような地域社会の構築を目指して「はつらつセンター事業」や「介護予防ボランティア育成事業」(ますます元気サポーター活動支援)、「地域づくり型介護予防事業」(あったかとしぎ体操)等を積極的に実施し、地域介護予防活動の場の拡大・充実を支援します。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる 地域の介護予防や健康づくりを推進するため、ますます元気サポーターの活動支援を行った。 あったかとしぎ体操の団体の立ち上げ支援や、活動支援を行った。	
	課題及び今後の取組方針	ますます元気サポーターの活動状況を把握し、必要な活動の支援及び協力を行う。 参加者の高齢化により担い手がいないため、継続が難しい団体がある。地域住民が交流の場を通して、住民主体の介護予防・交流が図れるよう、あったかとしぎ体操の普及・啓発活動・活動支援を行う。	

市	事業・取組	生活支援体制 整備事業	高齢者の生活支援ニーズに合わせた地域資源の発掘やマッチングを担う生活支援コーディネーターを配置するとともに、地域に不足する資源を創出するための協議の場となる協議体の設置も行い、生活支援サービスの提供体制を整備します。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる 地域の高齢者の日常生活を支えるために、日常生活圏域に生活支援コーディネーターを配置し、地域ニーズに合った提供サービスのマッチング及び不足する地域資源の開発への働きかけを行った。 また、地域における一体的な生活支援サービスの提供体制を整備するため、多様なサービス提供主体による協議体を設置し、検討を行った。	
	課題及び今後の取組方針	引き続き地域資源開発に取り組んでいく。 協議体の設置ができていない日常生活圏域があるため、協議体設置に向けて取り組んでいく。	

社協	事業・取組	地区社会福祉協議会への支援	地域に根付いた福祉活動を実施している地区社会福祉協議会(市内17か所)の活動への支援や役員研修会で市内全域での情報交換や地域福祉活動に関わる研修会等を開催し、共生社会の実現に向けた地域福祉活動を進めます。
	事業概要	「誰(何)を」「どうする方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる 地域の状況に応じた福祉活動(交流事業や見守り活動等)を推進している地区社会福祉協議会に対し、事業補助や相談等を行った。 また、地区社会福祉協議会の活動が地域住民にとってより身近なものとなり、地域共生社会の実現に向けて、「地域福祉サポータースタートアップ研修会」を役員研修会として開催した。	
	課題及び今後の取組方針	地域住民への広報・啓発活動を強化し、幅広い世代が参加しやすい事業を展開するとともに、関係機関や地域団体との連携を深め、誰もが地域で安心して暮らせる地域共生社会の実現を図る。	

社協	事業・取組	福祉団体及びボランティア団体 事業補助金	市内で活動する福祉団体やボランティア団体等を対象に実施する事業に対して補助等の支援を行い、市内の福祉活動の推進を図ります。
	事業概要	「誰(何)を」「どう方法で」「どうしたか」「対象」「手段」を記入する ※懇談会の意見があれば反映させる 地域における福祉活動の推進を図るため、市内の福祉団体・ボランティア団体計49団体の活動に対する補助を行った。	
	課題及び今後の取組方針	本補助金は共同募金配分金を財源としていますが、近年、募金額の減少に伴い、継続的な補助を維持するための財源確保が課題となっている。 今後は、補助事業の積極的なPRを通じて募金額の増加を目指すとともに、補助対象や事業内容についての検討についても進めていく。	

評価②

数値目標		R06	R07	R08	R09	R10	R11	自己評価	点数	評価基準
社協	学校・地域等への出前講座の実施回数	目標値	55	56	56	57	57	4	4	順調に進んでいる
		実績値	49	61					3	概ね順調だが不十分な点が少しある
	地域福祉サポーター養成研修受講者数 (隔年開催)	目標値	(85)	100	(100)	120	(120)	2	2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い
		実績値	59	59					1	実施方法も含め改善が必要である

評価③

【取組における成果】【施策の方向性の実現に向けた課題・方針】	
【取組における成果】 ●地域の高齢者の日常生活を支えるために、日常生活圏域に生活支援コーディネーターを配置し、地域ニーズに合った提供サービスのマッチング及び不足する地域資源の開発への働きかけを行った。また、地域における一体的な生活支援サービスの提供体制を整備するため、多様なサービス提供主体による協議体を設置し、検討を行った。 【施策の方向性の実現に向けた課題・方針】 ●引き続き地域資源の開発に取り組むとともに、協議体の設置ができていない日常生活圏域については、協議体設置に向けた取組を進める。	

評価④

推進懇談会評価	
・地域福祉サポーター養成講座は隔年開催であるため、数値目標値において開催しない年度については括弧書きで表記していただきたい。 ・高齢者の就労拡大や中高生の協力機会の減少等により担い手確保が難しいが、近所付き合いなど身近な支え合いから広げられるよう努めていただきたい。	
基本目標の実現に向けた現状の評価	4 ・ 3 ・ ② ・ 1